

【大会競技規則】

1. 大会は「当該年度公認野球規則」、全日本軟式野球連盟[学童野球に関する事項]及び「大会特別規則」を適用して実施する。
2. 大会出場資格は、千葉県少年野球連盟登録チーム単体とし、大会でのベンチ入りは、登録された代表者、監督(30番)、コーチ(29、28番)、スコアラー、介護員(2名以内、女性に限る)の7名以内(この内、監督、コーチの3名は認定指導者有資格者とする)、選手は主将(10番)、他の選手は(原則として0～27番)とし、9名以上25名以内とする。監督、コーチ、選手は同一のユニフォームに背番号(規定の寸法)を付ける。
参加する1チームの部員数が1・2年生を除き8名以下のチーム同士の連合を認める。この場合のユニフォームは、所属チームのままでも良い。但し、背番号の重複は不可。
3. ヘルメットは、JSBBマーク入りで両耳フラップヘルメットを着帽し、打者、次打者、走者、ベースコーチ及びノッカーや球審にボールを渡す選手は必ず着帽する。
4. 金属バットは、JSBBマーク入りのものに限る。
5. 捕手(控え捕手も含む)は、マスク(スロートガード付)、レガース、プロテクター、ヘルメット及び、ファールカップ(女子選手は除く)を着用する。
6. 投手の守備を除く、選手(打者、守備)の手袋およびリストバンドの使用は認める。
7. 大会はトーナメント戦とする。

【大会特別規則】

1. ベンチは組み合わせ番号の若番が一塁側、攻守は打順表提出時に主将のジャンケンで決める。
2. 打順表の提出は、試合開始予定時刻40分前迄に、監督、主将が4部を球場責任者に提出する。
3. シートノックは、後攻チームから開始し5分以内とする。但し、試合の進行状態によって行われなないこともある。
4. 試合は7回戦、若しくはタイムゲームを適用する。1時間30分を超えて新しい回に入らず、その回の得点をもって勝敗を決する。同点の場合は直ちに「特別延長戦」を適用する。
5. 同一投手の投球回数は、特別延長戦を含み1試合4イニング(12アウト)以内とする。
2試合ある場合は、1日の合計7イニング(21アウト)以内とする。
※高学年大会に於いては、投手は5・6年生とする。特例として4年生も認めるが出来る限り5・6年生とする。
(但し、4年生の場合は、1試合3イニング9アウトとする)
6. 【特別延長戦】
前回攻撃終了時の最終打者を一塁走者に二塁、三塁の走者は順次前打者とし、継続打順で一死満塁にして勝敗を決する。直も同点の場合は継続打順でもう一度行い、さらに決着がつかない場合は抽選とする。
但し、決勝戦は決着がつくまで繰り返す。 選手の交代は通常の場合と同様である。
特別延長戦における日没・降雨の場合は、抽選とする。
7. 【コールドゲーム】
 - (1) 得点差の場合は、3回均等回終了後15点差、4回均等回終了後7点差とする。(決勝戦も適用する)
 - (2) 日没・降雨によるコールドゲームの適用は、4回終了後適用する。また、4回終了前については、再試合とし、後日の第一試合前に行う。
日没・降雨の判断は、当該球場責任者、当該球場責任審判員が両チームの監督を招集し協議して決定する。
但し、4回表が終了した時点で後攻チームがリードの場合は、4回均等回終了とみなしコールドゲームを適用する。
8. 臨時代走(コーティシーランナー)を認める。(代走は打順前位の者、但し、投手、捕手を除いてもよい)
9. 抗議権のあるものは、監督と当該プレーヤーとする。
10. 低学年(4年生以下)大会は本則を適用せず「千葉県少年野球低学年大会特別規則」を準用する。

申し合わせ及び確認事項

2020年2月29日(改)

印旛郡市少年野球連盟

1. 野球協会主催大会出場チーム(但し、全日本学童千葉県大会優勝チーム及び関東学童千葉県大会出場チーム)及び千葉県スポーツ少年団大会優勝チームは、千葉県少年野球大会(千葉日報杯)への出場は出来ない。
2. 県大会(千葉県少年野球連盟及び野球協会主催の大会)出場チームは、学校行事等による大会日程・時間の変更は不可能な為、原則として最終日まで出場可能なチームとする。
3. 投手の変化球は禁止し、変化球に対しては「ボール」を宣告する。再度繰り返した場合は交代させる。
4. 作戦タイムの回数制限は7回戦で攻撃側・守備側各3回とする。尚、特別延長戦は1回につき各1回とする。内野手(捕手含む)が2人以上マウンドに行った場合は、1回にカウントする。
5. 監督が投手のところへ行く回数制限は、規則 5.10(Q)を適用する。
6. 走者及び打者走者は走塁の時ベースコーチまたは選手に触れてはならない。走塁補助としてアウトを宣告する。また本塁打の走者を迎える場合はベンチ前のみとする。
7. 監督に限り、グラウンドに出て、指示等をする事が出来る。
8. 各イングの投球練習時、控え捕手に代わって指導者が出来るが、他の選手の練習相手は出来ない。
9. ベンチ内は禁煙。試合中、喫煙を目的としてベンチを出た場合は、再びベンチへ戻り指導する事は出来ない。ただし生理的又はその他理由により、球審の許可を得た場合はこの限りではない。
10. メンバー交換終了後、ユニフォーム着用者以外はグラウンドに出る事は出来ない。
11. 代理監督が28番、又は29番を着ける場合のベンチ入りはこの2名である。
この場合、メンバー表に必ず「代理」の記載をする事。
12. シートノック行う監督又はコーチにボール渡しを行う選手はヘルメット着帽のうえ、トス渡しとする。
球審へのボール渡しを行う選手はヘルメットを着帽する。
13. 代表者、スコアラー、介護員の服装は帽子に限り同形の物を着帽し、靴は運動靴を着用する。
14. スパイクシューズは監督、コーチ及び選手は全員同系色とする。(金属製の使用を禁止する)
15. 投球練習(ベンチ前の投球練習含む)及びシートノック時、キャッチャーは防具、面を着用の事。
また、シートノック時キャッチャー後方にいる選手はヘルメットを着帽の事。
16. 監督、コーチ、審判は認定証を携行し、提示出来る様にして置く。

以上

印旛郡市大会での注意点

2020年2月29日(改)

印旛郡市少年野球連盟 審判部

1. 第一試合のチームは、試合開始1時間前にグラウンドに入って下さい。
※ 2時間前や1時間30分前に入る事は、駐車場やグラウンド周囲の方に迷惑となるので禁止します。また、グラウンド脇での乗り降りは禁止です。
2. 試合前のトスバッティングやノックは実施して構いません。(怪我に注意)
3. 相手チームのシートノック中はベンチに入って下さい。(バッテリは除く)
4. 次の試合のバッテリは、試合中の投球練習は禁止とします。
但し、シートノックが無い場合は許可します。
5. 試合中のベンチ前の素振りは禁止します。
6. 裾の広いストレートパンツは禁止です。
7. 高学年大会(関東学童新人戦含む)は、メンバー表に4年生がわかる様に背番号欄の背番号に丸印で囲って印を付ける。
8. ネクストバッターサークルでは投手が投球動作に入ったらファールボールに気を付けて静止する事。
(バットを振ってはならない、また、立っていても座っていても良い)
9. コーチーズボックスに行く時は、ベンチでヘルメットを被ってから行く事。
10. 試合中は外野ファール地域に指導者か保護者を配置し球拾いをして下さい。
11. ベンチ内での暴力、暴言は「退場」の対象です。

以上

帯同審判員への注意

1. 試合開始1時間前の集合厳守。
2. 審判が前の試合のユニフォーム着用者の場合、責任審判に連絡し、速やかに着替えて集合する事。
3. 審判服は郡指定の物を正しく着用する。
但し、ズボンは準ずる物でも可とします。靴、アンダーシャツ、ベルト、靴下は紺色か黒色で統一します。半袖の審判服の下に長袖のアンダーシャツは禁止とします。
4. 野球規則に精通(努めて下さい)する事。
5. クロックワイズ(四人制メカニクス)に精通(努めて下さい)する事。
6. 審判講習会受講終了証を必ず提示して下さい。(過去の受講年度の終了証でも可)

以上